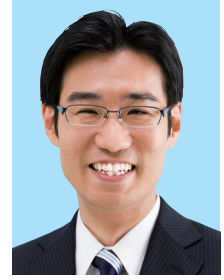


清水ひろし



第 51 号

民主党・市民の会

からの手紙 

区議会議員 2 期目 特集号



2期目4年間の主な議会活動をとりまとめました。荒川区に「**住んでいて良かった**」と誰もが実感出来る区政へ向けてこれからも取り組んで参ります。

清水ひろし | プロフィール

39歳 昭和50(1975)年5/7日生 卯年 A型 おうし座
寛永寺幼卒/根岸小卒/早中・早高卒/早大卒。民主党本部元職員
平成19(2007)年 荒川区議選初出馬初当選。平成23(2011)年2期目当選。
現在は、民主党荒川区支部幹事長。議会では文教・子育て支援委員会、公共施設老朽化等対策調査特別委員会、議会運営委員会に所属。
家族は妻と娘(6歳・平成20(2008)年12月生)。

清水ひろしの問題提起

1 公共施設老朽化対策の必要性を指摘

区内公共施設は約270、延床面積43万㎡ある。このうち築40年以上の建物は4割を超える。老朽化が進み大規模改修や建替えをむかえるため、計画作りが必要である。そのためにまずは全体保有量、利用状況、維持費などを把握して、今後の公共施設のあり方を検討していくべきではないか。

2 学校トイレの洋式化整備

トイレの洋式化率はふれあい館78%、幼稚園86%、保育園は100%となっている。対して学校は小学校44%、中学校52%という状況にある。とりわけ小学校では比率30%未満の学校が全24校の1/3ある。区施設との比較、子どもの成長過程、あわせて災害時の避難所となる視点、節水効果も含め、洋式化を計画立てて進めることが必要ではないか。

3 日暮里駅下御隠殿橋を路上喫煙禁止地区に指定

橋上の駅舎出口は乗換客の喫煙場所となって吸殻も散乱している。この橋は観光スポットの一つであるトレインミュージアムとして区もPRし、小さい子どもも集まって来る。主要駅周辺が喫煙禁止地区となっているのと同様に指定すべきではないか。

4 区施設エレベーターに防災備蓄

大規模災害時にはエレベーターが停止し、長時間閉じ込められる恐れがある。区施設エレベーターに非常用トイレ、水などを設置(写真右)するべきではないか。



5 「にこにこスクール」の全校整備

放課後の全小学生を対象とした居場所づくり事業「にこにこスクール」は小学生全24校のうち14校での実施状況にある。学童クラブ児童へもきちんと対応したうえで、同じ行政サービスをどの学校であっても等しく受けられるよう速やかに整備すべきではないか。

6 保育園健診の充実

幼稚園と保育園では健診項目が異なる。幼稚園の眼科健診では約1割の児童が異常ありと診断されている。保育園では内科、歯科のみであるが、幼稚園同様に眼科、視力等の健診を行っていくべきではないか。

7 ボール遊びの出来る場の確保

子どもたちの投力が低下している。千代田区ではボール遊びが出来る場を確保するための条例を定めた。荒川区内にもボール遊びが出来る場を確保していくべきではないか。

8 児童虐待への体制強化

区民からの児童虐待に関する相談件数は毎年2倍のペースで増加している。関係部署との連携や事案対応のためにも組織体制を強化すべきではないか。

9 議会改革

地方議会・議員の役割や資質が問われている。議会基本条例を制定すべきではないか。

2期目の成果！

平成25年に公共施設問題の特別委員会を区議会に新設。区は昨年3月に中長期改修計画を策定した。

平成27年度は尾久小、一日小を改修。以降順次、行っていく。

平成25年3月から日暮里駅下御隠殿橋は路上喫煙禁止地区に指定。

区施設のエレベーターに設置。

今年4月から新たに3校で開始をし、平成28年度には全24小学校にて実施をする。

平成26年度から保育園においても4歳児の視力、眼科健診を実施。

今年3月、JR三河島駅沿いの西日暮里一丁目広場に設置。

今年4月から子ども家庭支援センター所長に課長職を配置し、係長も増員となる。

23区初となる議会基本条例を制定し、都内初となる通年議会制を導入。